



Weekly 第73号

個室ユニット推進協ニュース

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

直近の介護関連ニュース（ダイジェスト版）をお届けします。今週号は2018（平成30）年9月10日（月）～9月17日（月）まで約1週間です。前週号で掲載できなかったニュースが含まれています。詳細は厚生労働省のHP等で確認してください。**赤字は重要ニュースです。**

■人口減少39.4万人 過去最大の減少 29年人口動態統計（9月7日）

厚労省の「29年人口動態統計（確定数）」によると、出生数は調査開始以来、最少の94万6065人（前年比3万913人減）、合計特殊出生率1.43（0.01ポイント低下）、死亡数は戦後最大の134万0397人（3万2649人増）。その結果、11年連続の自然減となり、減少幅は過去最大の39万4332人（6万3562人減）。死因別・男女総計は①悪性新生物（がん）約37万3千人②心疾患③脳血管疾患④老衰⑤肺炎一などの順。

■外出しない男性に低栄養の傾向 国民栄養調査（9月11日）

厚労省の「29年の国民健康・栄養調査」によると、「週に1度も外出しない」と回答した65歳以上の男性は、「外出している」と答えた男性と比べ、低栄養になりやすい傾向にある。女性にはそうした傾向が見られない。また「なんでもかんで食べられる」人は低栄養になる割合が、「かめない食べ物が多いものがある」（一部含む）人と比べ、低栄養の割合が低い。80歳以上は男女にかかわらず、約2割に低栄養の傾向が見られた。

■養成校の充足率44% 過去最低 外国人留学生は倍増（9月12日）

日本介護福祉士養成施設協会の調査によると、介護入の入学者数は6856人で定員に対する充足率は44.2%にとどまり、いずれも過去最低を更新。一方、外国人留学生は前年度のほぼ倍増の1142人、全入学者の16.7%を占め、過去最高。

■がんの「3年生存率」を初公表 国立がんセンター（9月11日）

国立がん研究センターは、がん患者の「3年生存率」（初公表）と「5年生存率」を発表した。全体の生存率は3年で71.3%、5年で65.8%。部位別で生存率が高いのは「前立腺」99.0%、98.4%、「乳房（女性）」95.2%、92.7%、「子宮体部」85.5%、82.5%一など。低いのは「膵臓」15.1%、10.0%、「肺」49.4%、40.0%、「食道」52.0%、43.7%一など。全国251施設ごとのステージ別のデータも初公表した。

■70歳以上 総人口の2割を突破 総務省の高齢者統計（9月16日）

「敬老の日」（9月17日）に合わせて総務省が発表した推計によると、今月15日時点で、70歳以上は2618万人、総人口に対する割合は20.7%（前年同期より0.8ポイント上昇）と初めて2割を超えた。65歳以上の高齢化率は28.1%（0.4ポイント上昇）で過去最高を更新した。